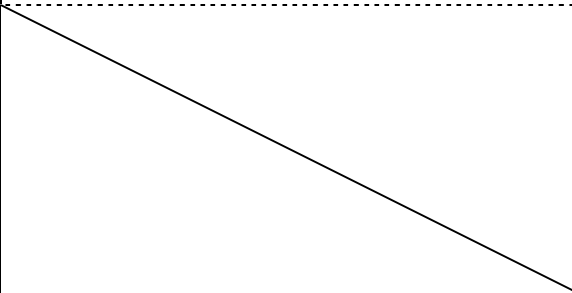


平成19年度第2回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成20年2月4日(月)午後2時から4時 富山市役所502会議室
委員 (委員数5名) 出席5名	委員長 米田政明 (富山工業高等専門学校校長) 委員 新畑 彬 (大沢野地域審議会委員) 委員 尾畑 納子 (富山国際大学地域学部教授) 委員 島谷 武志 (弁護士)
欠席0名	委員 橋本 邁 (税理士)
次第	1 開会 2 委員長の選任 3 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・入札・契約制度の統一について ・発注標準等の改正について ・電子入札の一部運用開始について ・入札契約別の発注工事及び落札率について ・指名停止の運用状況について 4 報告事項 「立山山麓リフト2工事に係る入札について」 5 審議対象工事抽出結果の報告 6 抽出工事の審議 7 審議結果の報告 8 閉会
対象期間	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで
抽出工事 (落札率)	10件(対象工事件数816件) 一般競争入札(4件) ・豊田小学校校舎移転改築主体(A工区、管理・特別教室棟)工事(98.42%) ・新鍛冶川第7工区改良工事(98.97%) ・流域関連富山特定環境保全公共下水道持田地区その1舗装復旧工事(78.78%) ・新南部幹線鞆管推進工事(98.48%) 指名競争入札(5件) ・山室第2土地区画整理事業秋吉2号線外道路築造工事(70.27%) ・五福団地中央線外側溝補修工事(99.08%) ・農業集落排水事業熊野地区吉岡第3工区管路施設工事(99.18%) ・牛ヶ増地区治山工事(97.13%) ・婦中町千里(第2工区)配水管仮設工事(99.00%) 随意契約(1件) ・富山市科学文化センター外壁等修繕工事(99.52%)
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成19年度上半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
<p>落札率が下がっている傾向が見受けられるが、何故か。</p>	<p>契約制度の改善により、一般競争入札の比率が増え、指名競争入札の比率が減ったためだと考えられる。</p>
<p>一般競争入札において、事前に予定価格を公表しているか。</p>	<p>入札公告で公表している。指名競争入札においても、指名通知に記載している。</p>
<p>立山山麓リフト2工事に係る入札に対する行政苦情オンブズマンへの苦情申立については、メーカー・型番の指定は、妥当な理由があり、人事・資本関係がある事実は認められないと判断できる。</p>	
<p>入札監視委員会は再苦情を審議する機関であり、一次的な苦情処理を受け付ける制度を整備する必要がある。</p>	
<p>「豊田小学校校舎移転改築主体工事」について、約30年近くで改築しているが、今回は法定の耐用年数である50年を想定したものになっているか。市民の税金から捻出している社会資本の早急な建て替えは許されない。</p>	<p>法定の耐用年数を想定した設計になっている。耐震基準が厳しくなった影響で30年程度の建て替えとなった。現在の厳しい耐震基準を満たしたものを建築中である。</p>
<p>国交省発注の場合、金額の大きい工事については、ほとんど総合評価方式を導入している。富山市も、金額の大きい工事について、総合評価方式を導入してはどうか。</p>	<p>簡易型Bという国の示した簡単なモデルに則って、今年度、数件は試行した。しかし、技術点などを審査するノウハウが必要で、審査する市職員の資質が問われる問題があり、すぐに規模の大きい工事について導入するのは難しいと考えている。数年後には、導入したい。</p>
<p>「新鍛冶川第7工区改良工事」の入札公告に「2級土木施工管理技士(土木)と同等以上の資格を有する者を配置できること」とあるが、この「同等以上」とは、どういう意味か。</p>	<p>よく使う表現である。施工管理技士などの具体的な有資格者のほかに、建設業法では学歴により一定の実務経験の年数がある者を主任技術者として認めており、実務経験による配置技術者を想定している。</p>

意見・質問	回答
電子入札による入札者の入札をする時間は、どうなっているか。	入札公告等で受付期間を定めており、締切日時に集中する傾向があるが、まちまちである。
経営難から無理な受注をし、下請けいじめをする業者がいるという話を聞くが、一括の下請工事、いわゆる丸投げ行為について確認しているか。	一括の下請工事が無いかについても確認しながら、監督している。
「新南部幹線鞘管推進工事」の入札公告で、配置技術者の資格として、「１級土木施工管理技士と同等以上の資格を有する者を専任の主任技術者として配置できること。」としており、「１級」としているのは何故か。	二重構造の外側の管である鞘管を埋設する工事で、精度が必要である鞘管についての工事であり、高度な技術が必要なため、「１級」としている。
「山室第２土地区画整理事業秋吉２号線外道路築造工事」は低入札価格調査を行った案件だが、工事に問題はなかったか。	なかった。中間検査を行い、監督を強化し、工事の品質確保に努めた。
Ｃランクの金額の工事で、Ｂランクの業者も指名されている。直近の低位のランクの業者を指名に入れるというルールではなかったか。	いいえ。上下両方になる。発注標準で公表している。品質確保と競争性の両方を配慮している。
除雪協力の有無について、指名条件としているか。	除雪協力については１０月頃から条件にしている。機械の維持やオペレーターの育成など難しい問題が多く、協力業者を確保するため、指名条件としている。
「富山市科学文化センター外壁等修繕工事」を特命随意契約としたメリットはあったか。	はい。工期と金額の面で十分にあった。